

マテリアリティ(重要課題)の特定に関するお知らせ

朝日放送グループホールディングス株式会社(本社:大阪市福島区、代表取締役社長:沖中 進)は、12月11日、持続可能な社会の実現と持続的な企業価値向上のために優先的に取り組むべき重要課題としてマテリアリティを特定しましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 当社グループのマテリアリティ



2, マテリアリティと各取り組みの一覧

マテリアリティ	
未来を創る人財を育てる	ダイバーシティ&インクルージョン(D&I)の推進による組織活性化 適応力とチャレンジ精神を生む企業風土の醸成 人も組織も成長できる職場環境や制度の充実
コンテンツの力で豊かな明日を創造する	世界に感動を届けるコンテンツや体験の提供 希望あふれるインクルーシブな社会への貢献 子どもたちの健やかな成長の支援
地球の健康を取り戻し次世代へつなぐ	地球環境や生物多様性を守る情報発信 命と暮らしを守る防災・減災報道の強化 カーボンニュートラルの実現など環境に配慮した事業活動の促進
信頼されるメディアグループであり続ける	メディアとしての公正、公平性の堅持 テクノロジーやライフスタイルの変化に対応した情報伝達 健全な情報社会の育成と、情報格差の解消
人権を尊重しすべての人々が幸福に生きる社会をめざす	人権への理解向上と人権侵害の防止 サプライチェーンに関わる人々の健康と安全への配慮 厳正な情報管理によるプライバシーの保護
ガバナンスを強化し持続的な成長を実現する	コーポレートガバナンスの高度化 コンプライアンス、情報セキュリティの強化 ステークホルダーとの対話や情報開示の充実
テクノロジーの活用で未来を照らす	デジタル技術活用によるビジネス機会の創出 事業におけるDXの推進 デジタルリテラシーの向上
輝く地域づくりに貢献する	地域の魅力や課題の発信 地域の文化、経済の活性化への寄与

3, 特定の目的と今後について

「朝日放送グループは、変化に対応しながら進化を続け、強力な創造集団として社会の発展に寄与する」との経営理念に沿って、持続可能な社会の実現と持続的な企業価値向上のために当社グループが優先的に取り組むべき重要課題「マテリアリティ」を特定しました。今後、具体的な行動目標や KPI 等を設定し、課題解決への取り組みを推進していきます。

なお、特定プロセスなど詳細は[当社ホームページ](#)で公開しておりますのでご参照下さい。